

令和5年度  
第3回加賀市健康福祉審議会高齢者分科会会議録

日 時：令和5年10月26日（木）午後1時30分～2時40分

場 所：加賀市役所別館302・303会議室

出席委員：◎橘、○山崎、新口、北出、河嶋、中野、横谷、横倉、松村、中西、澤田、東田、中屋

（敬称略・◎会長、○副会長）

**次第**

開 会  
部長挨拶  
議 題

- |   |                        |         |
|---|------------------------|---------|
| 1 | 高齢者お達者プラン策定状況について      | 【資料1】   |
|   | （1）在宅介護実態調査について        | 【資料1-1】 |
|   | （2）在宅生活改善調査について        | 【資料1-2】 |
|   | （3）居所変更実態調査について        | 【資料1-3】 |
|   | （4）介護サービス供給量調査について     | 【資料1-4】 |
| 2 | お達者プランの施策体系について        | 【資料2】   |
| 3 | 地域包括支援センターの体制について      | 【資料3】   |
| 4 | 認知症施策について              | 【資料4】   |
| 5 | サービス給付実績等のモニタリング結果について | 【資料5】   |
| 6 | 介護人材の確保等について           | 【資料6】   |
| 7 | 介護サービス等の供給量の確保について     | 【資料7】   |

閉 会

**議事要旨**

議題1 高齢者お達者プランの施策状況について

資料1

質疑応答

橘会長 サービス提供を断ったケースについて、どのような対策を想定していますか。

事務局 市からハラスメント防止の周知啓発を実施します。

議題2 高齢者お達者プランの施策体系について

資料2

質疑応答 特になし

議題3 地域包括支援センターの体制について

資料3

質疑応答 特になし

議題4 認知症施策について 資料4

質疑応答 特になし

議題5 サービス給付実績等のモニタリング結果について 資料5

質疑応答 特になし

議題6 介護人材の確保等について 資料6

質疑応答 特になし

議題7 介護サービス等の供給量の確保について 資料7

質疑応答

中野委員 訪問系サービスを利用することで、在宅生活の不安が解消され、施設への入居を遅らせることで在宅生活が長く続けられると思うのですが、一方で訪問介護事業所が少なくなり、訪問介護で働きたい職員が少ない状況です。また、時間帯が土日関係なく早朝から夜間まであり、職員の働きやすさと利用者の生活支援の在り方とのバランスが悪い状況のため、人材確保が難しい状況です。

他事業所と併用した形で検討というのは、どのようなイメージで考えていけばいいのか教えて欲しい。

事務局 訪問介護と通所介護を併用した複合型サービスにつきましては、通所介護の職員が時間帯を合わせながら訪問介護を提供することを想定しておりますが、国の制度改正を踏まえながら検討していく必要がございます。

中野委員 国の制度改正中のため見守る形ではあるのですが、訪問介護の指定権者が県のためやりにくさがあります。しかしながら、地域密着型サービスである小規模多機能型居宅介護等では独自加算を算定し上手く機能しているため、複合型サービスにおいても独自加算を検討する等、もう少し柔軟に考えていくことは可能か。

事務局 国の給付費での制限はありますが、複合型サービスとなるため、更なる職員を有効に活用していく仕組みを柔軟に考えていきたいと思っております。また、加賀市介護サービス事業者協議会にアイデアをいただきながら、例えば国に特区の申請等も考えていきたいと思っております。

中西委員 インスリン投与しないといけない方が施設を断られる理由は何か。

事務局       インスリン投与後に低血糖による発作や急変の対応に対して看護師が必ず在席している訳ではないため、不安に感じてしまう点があります。また、腎臓の機能が衰えていくことから透析になる可能性も高く、送迎職員の人材が不足している現状です。

松村委員     人員不足について、活力のある若い人たちが訪問介護事業所を起業されて、ケアマネジャーとしても大変嬉しく思います。また、若い力を支援する助成金等があると良いと思います。意見として、よろしく申し上げます。

事務局       貴重なご意見を賜りありがとうございます。ご意見を基に介護人材の確保に取り組んで参ります。

閉会